

# 燃える！大中魂！2018夏 市総体へ向けて 意気込み語る！！

# 若木

「若木」第126号  
発行  
大間々中学校PTA  
みどり市大間々町  
桐原217

編集  
PTA広報委員会

生徒数	249名
男子	109名
女子	140名

## バレーボール部



井野口 遥 部長

私たちバレーボール部は、「勇姿颯爽」という言葉を胸に、強く・たくましく・さわやかにプレーをし、この部よりも練習してきた力を夏の総体で全部出し切れるように全力で頑張りたいです。

## 美術部



関口 唯唯 部長

美術部は、夏の大会などはないため、一人ひとりがコンクール等に入賞できるように、目標を持ち、頑張っています。また、夏休みはポスターの募集がたくさんあるので、どんどん積極的に応募していきたいと思えます。

## 男子ソフトテニス部



山口 承真 部長

男子ソフトテニス部は、個人・関東大会出場、団体・県大会出場を目標としています。今までの練習の成果を全部発揮できるように頑張ります。

## バスケ部



橋本 佳樹 部長

僕たちバスケットボール部は、毎日一生懸命練習に励んでいます。夏の総体は、三年生にとつて、最後の大会です。今まで練習してきた成果をここで発揮して、まずは初戦で絶対に勝って、さらに勝ち進み、県大会へ出場したいです。これから、さらに練習に力を入れて

## 女子ソフトテニス部



石原 杏新 部長

女子ソフトテニス部の夏の大会の目標は、個人戦では多くのペアが一試合でも多く勝つこと、団体戦ではトーナメント戦まで勝ち上がることで、団体戦には、二・三年生しか出ませんが、女子ソフトテニス部全員で勝ちにいたらと思っています。三年生は最後の大会になると思っているので頑張ります。

## ソフトボール部



星野 真澄 部長

私たちは、市大会優勝、県大会ベスト4を目標としています。

## 陸上部



加藤 あゆみ 部長

今まで積み上げてきた練習の成果を最大限に発揮したいです。個人種目はもちろん、リレーや総合でも良い成績が残せるように残りの数日間、全力で集中して練習していきます。目指すは全員入賞！

## 野球部



星野 良幹 部長

私たちは、三年生四名、二年生七名、一年生一名

## サッカー部



須藤 成吉 部長

大中のサッカー部は、人数は少ないけれど、個の力は他の学校に負けないと思います。だから、今までずっとやってきた味方作りなどの練習が意味のあるものだったということを示すことができればいいなと思っています。ワールドカップで世界各国の代表が熱い試合をしているので、自分たちもそれに負けないように熱い試合をしたいです。

## 剣道部



塩谷 巧真 部長

市予選を一位で通過し、県ベスト3をめざし、関東大会に向けて頑張っています。

## 卓球部



高橋 恒晋 部長

僕たち男子卓球部は、春の県大会でベスト8で敗退し、学校シードを取れずとても悔しい思いをしました。そのため、「最後の大会を笑顔で終わりたい」という思いで、朝練習、放課後の練習などを日々集中して取り組んでいます。

## 卓球部



柿 瑛璃 部長

女子卓球部の夏の総体の目標は、県大会出場、県大会で一回戦突破することです。夏の県大会には、桐生・みどり地区からは団体で二チームしか出場できません。夏の大会は三年生にとつては最後の大会なので、他の学校も本気でくると思っています。もう残り少ない練習ですが、一球一球を大切に、県大会へ出場できるように頑張りたいです。

## 吹奏楽部



今泉 聖希 部長

現在、吹奏楽部は計二十二名で、夏のコンクールに向けて日々皆で一生懸命練習しています。コンクールでは、大間々中らしい大中メロディーを奏で、皆で悔いの残らない演奏をするのを目標としています。他校の演奏と比

## 水泳部



松島 詩乃 部長

三年生にとつて、中学校最後の大会となります。部活動を悔しい思いで引退したくないと誰しも思っています。私たちは、一人でも多く県大会に出場できるように毎日泳いでいます。その努力を十分に発揮し、さらに、百メートルパーセントの力を出して頑張りたいと思います。

いよいよ市総体が始まります！三年間の部活動の集大成です。どの部も毎日のように熱こもった練習が行われています。春季大会の雪辱に燃える部、優勝旗を守る部、優勝旗奪還をめざす部。気持ちは様々ですが、同じ大中の一員として想いは一つ！良い結果が出るのが一番ですが、最後まで熱く戦い抜いて欲しいと思います！

# 修学旅行

京都・奈良

六月十七日～十九日

## 修学旅行

三年二組 塩谷 海斐

僕たちは、三日間、京都・奈良へ修学旅行へ行きました。

一日目、奈良で、東大寺、春日大社などに行き、文化や歴史に触れました。初めて奈良に行くと、少し慣れないこともあったけれど、興味や楽しみの方が大きく、思い出もたくさん作れました。

二日目、京都の各地を、班で一日行動しました。清水寺や龍安寺などの、日本の代表的な美しいお寺をたくさん回りました。中でも、僕が一番気に入ったところは、清水寺です。清水寺では、舞台は工事中で見ることができなかつたけれど、美しい景色ときれいなお寺を見ることができました。今まで、一度でもいいから見たいと思っていた所に行けて、とても幸せでした。

また、そこで初めて外国人の方へのインタビューをしました。少し緊張しながら話していましたが、だんだんと楽しくなり、リラックスしてインタビューすることができました。こういう経験も大切なと感じました。京都ならではの、群馬にはない物や文化、歴史を体感することができて楽しい思い出となりました。

三日目は、クラス全員で行動し、金閣寺に行きました。初めて見た金閣寺は、とても

きれいで、できることなら屋内にも入って見てみたいと思いました。

その後、扇子を作りに行きました。下書きは簡単で、早くできたけれど、実際に扇子作りを体験してみるととても大変で「時間がかかる」と思いました。でも、こうしてできた扇子は、きっと良い物になると思います。一ヶ月後に届く扇子が待ち遠しいです。

この三日間で、僕は、みんなの絆が深まったと実感することができました。京都・奈良での最高の思い出を大切に、今回知った文化の違いなどを、これからの生活で生かせる場面を見つけて、生かしていきたいです。

修学旅行で作った思い出の絆を、一生大切にしていきたいです。



## 職場体験

# キャリアドリーム (6月19日～21日)



職場体験口話より

二年一組

小林 風斗

僕は今回ミツバ赤城工場に職場体験に行きました。初日は工場を見学し、少しだけ作業をしました。単純な作業だったけど、「この小さな部品が世の中を支えているんだ。」と思うと責任感が出てきました。そして「失敗できないんだ。」という不安や緊張も生まれました。失敗した時、周りの人たちは優しく丁寧に教えてくれました。そのおかげでミスも減ってきたので僕はミニメーカー

で、ドキドキでした。ゆうずうではダメな、キャンパファイヤー、お風呂など、二日目はたくさんのお土産をいただきました。思い出ができました。

## 榛名高原学校

五月十六日～十七日

高原学校の思い出

一年一組 齋藤理緒

待ちに待った高原学校。私はワクワクしながらバスに乗りました。

一日目の最初は登山でした。思ったよりもきつくて、みんな「あじと二十分だよ」とか「もう少しで着くよ」なぞ、声をかけ合い協力しながら登りました。

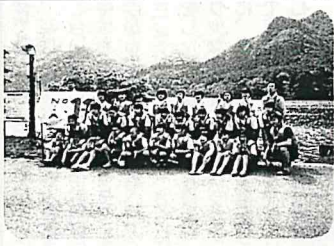
次はカッターです。カッターはみんなで協力しないと進まないで、一生懸命声を出して漕ぎました。少しでも気を抜くとかがい倒れてしまうの

シヨンの大切さを学びたいが出来ました。

二日目はさすがに疲れてしまいました。しかし、工場の方々は普通作業していたので「疲れないんですか。」と質問したら「慣れたね。一週間くらい慣れるよ。」と言われました。人間の慣れはすごいなと思いました。僕はやっぱり辛いものは辛いなあと感じたのが正直な感想でした。

三日目も同じ作業をしました。ですが、この日は午後にはEVカートというものに乗りました。意外に早くて驚いて、良い経験が出来たと思います。作業スピードも初日と比べると圧倒的に早くなり、周りの人もかなり楽しめた三日目だったように思います。

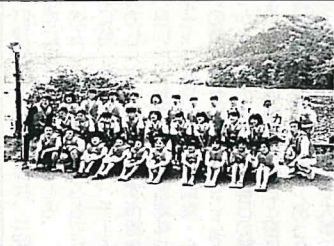
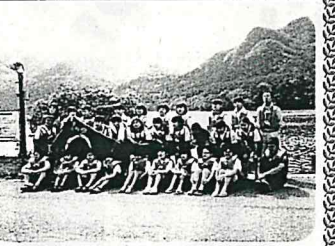
りひとりの心がけが大切なこと。困っている人がいたらみんな助け合うこと。一人だけではみんな協力できないこと。私は、この高原学校で一つ成長できたと思います。この二日間のたくさん思い出を胸に、ここで学んだことを生かしていこうと思います。



僕は、この三日間の経験でたくさんのお金をもらうのが出来たのは、「お金をもらうのが」とだけ大変なのか。」という使用して、生徒会主催の異学年ことで、僕自身も身をまわして実感しました。

世の中の全ての人と同じ仕事は紙が渡され、その名前の生事ではないけれど、きつこと生徒を全校の中から見つけられる大変なのだと思う。出して班を作ります。その後、今回の体験でこのことを、班の中で自己紹介をしよう、学んだ時、これほどたくさん交流をしようというクリエーションが仕事を頑張る僕を支えてくれた。先輩が大きな声で伝えてくれているのだと思う。後輩の名前を出して確認しました。そう思うとたくさんしたり、初めて話す人も笑った。顔でコミュニケーションがとれたら、終始和やかな雰囲気でも貴重な経験でした。

この三日間は僕にとって、それなりに、終始和やかな雰囲気でも貴重な経験でした。



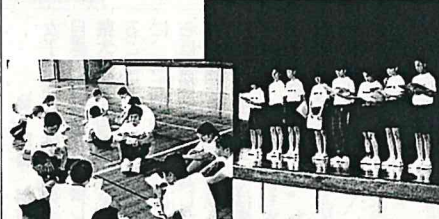
## 生徒会レクリエーション

〇参加した生徒の感想

3年 中村 花南

六月二十五日の朝の時間を話したり、知らない子と話したり、知らなかったことを知ることができたのでよかったです。班の子を探している時も「向うにいますよ。」とか「今日、お休みです。」とか話しかけてくれたので嬉しかったです。また、違う子ともやりたいなと思いました。そして、普段も他学年の子と関わりを持ってたらなと思いました。

1年 平岡 大空



先輩や同級生のことをもっとと知ることができて、仲が深まったような気がしました。あまり話したことがない先輩方とも話することができたのでとても楽しかったです。またいつかやってみたいなと思いました。朝レクをやったときは、時間がとても早く過ぎていたような感じがするほど楽しかったです。三年生が話を上手に進めていたのがいいなと思いました。

## 編集後記

校正作業に携わる事など無かった素人ですが、明るく楽しいメンバーで和気あいあいと編集作業をしています。なかなか入る機会が無い校長室で、歴代の校長先生の写真に見つめられながらも、リラックスして作業できるのはこのメンバーだからだと思います。正直、今まではあまりじっくりと読み込んだ事の無かった「若木」ですが、自分が関わることで愛着が湧き、発行が楽しみにになりました。しっかり読むと、学校や先生方、子ども達の様子もよく分かる「若木」です。皆さんも次回発行を首を長くしてお待ち下さい。

(桂・裕)